

第53回・荒川太郎右衛門地区自然再生協議会  
議事録

- 日時 : 2022年11月15日(火) 13:30~15:30
- 場所 : WEB
- 出席者 : 浅枝会長、三島副会長、堂本委員、荒木委員、川島委員、宮川委員、木内委員、北村委員、赤羽氏(菅間委員代理)、桶川市市民生活部、(株)サイサン(櫻井氏)大束委員  
荒川上流河川事務所 濱田  
日水コン・日本生態系協会 JV 中村、加藤、宮川、田中、小宮

●資料

議事次第・出席者名簿

資料-1. 第43回運営委員会(2022/10/26開催)議事録

資料-2. 生態系モニタリング専門委員会(報告)

資料-3. 維持管理・環境管理専門委員会(報告)

資料-4. イベント実行委員会(報告)

資料-5. 協議会の諸活動や組織体制の見直し

資料-6. 2023年度以降の自然再生地のモニタリング

資料-7. 2022年度の協議会及び各組織の進捗と予定

参考資料-1. 協議会設置要綱

参考資料-2. 2022年度のモニタリング結果(中間)

【議事結果】

- ① 生態系モニタリング専門委員会の報告について、了承された。
- ② 維持管理・環境管理専門委員会の報告について、了承された。
- ③ イベント実行委員会の報告について、了承された。
- ④ 協議会のあり方、要綱等を集中的に協議できる場が必要である。対面での実施が望ましい。
- ⑤ 協議会の運営事務を荒川上流河川事務所がコンサルタントに委託している件について、その内容や個人情報の取扱いを荒川上流河川事務所が説明すること。
- ⑥ セブンイレブン記念財団との協定について、北村委員は手続き上、不同意とされた。

## 【主な議事内容】

### ●第43回運営委員会（2022/10/26開催）議事録

- ・第43回運営委員会の議事録を用いて議事内容を共有した。運営委員会の議事結果を踏まえ、今後の協議会では、実施者が活動内容を発表する形式としていく。

### ●生態系モニタリング専門委員会（報告）

#### (1) 生態系モニタリング専門委員会の活動を調査実施コンサルタントより報告を行った。

- ・環境DNAについては、今後定量的な分析を出来ると良い。

#### (2) 自然再生地における昆虫調査結果（長畑委員、事務局代読）について報告を行った。

- ・モンクチビルテントウが沖縄から分布を広げた経路・移動手段として何が考えられるのか。

⇒（長畑委員より後日回答）

沖縄から鹿児島県（本土部、島嶼部）へは植物の運搬が行われており、それらに付着して渡った可能性があると思われます。

本州へは、「九州から徐々に北上した」可能性と、「鹿児島県（奄美大島）から植物に付着して八丈島に渡り（飛行機？）、そこから船便等で東京本土部に渡った」可能性が考えられます。

- ・以前、長畑委員より厳冬期のライトトラップ調査で1匹も昆虫を呼び寄せられなかったと聞いた。昆虫の活動できる下限の温度はあるのか。

⇒（長畑委員より後日回答）

昆虫にも「春の昆虫」「夏の昆虫」「秋の昆虫」「冬の昆虫」があり、それぞれ活動可能温度域は異なっています。カブトムシなんかの夏の昆虫は低温では活動困難になりますが、冬の昆虫はかなりの低温下で活動します。冬の昆虫の代表であるフユシャクガの仲間は、厳冬期の夜間に活動します。概ね、1～10℃の間では十分活動可能と考えて良い。セッケイカワゲラの仲間は、夏季には高山の残雪の上、冬季には積雪の上を歩行しています。ですので、0～5℃の間でも活動できると思います。

#### (3) 下池ミドリシジミの調査結果について荒木委員より報告を行った。

- ・2018年～2019年の調査では、クワの実にミドリシジミが集まっている様子が確認できた。
- ・クワの実の発生とミドリシジミの個体数の関係を見てみるのも良いと思う。
- ・ミドリシジミの生息の場として、クワの木を扱っていくことについては、維持管理・環境管理専門委員会の中で検討していきたい。

⇒（長畑委員より後日回答）

ミドリシジミ成虫の吸蜜源は、白い花でクワの花が有名です。人為的にミドリシジミの生息場を改善したい場合は、吸蜜源となる花のなる木を植えるのが良いと思います。

●維持管理・環境管理専門委員会（報告）

- (1) 維持管理・環境管理専門委員会の活動を堂本委員長より報告を行った。
  - ・セブンイレブン記念財団との協定について、北村委員は手続き上、不同意とされた。
- (2) 東京デザイン専門学校による 2022 連携課題「リーフレット制作」について堂本委員長より報告を行った。
- (3) 自然再生地を活用した新人研修について（株）サイサンの櫻井氏より報告を行った。
- (4) 自然再生地における環境保全活動（つばさ北小学校、事務局代読）の体験について報告を行った。
- (5) 自然再生地の機械除草について（本田航空(株)、事務局代読）報告を行った。

●イベント実行委員会（報告）

- (1) イベント実行委員会の活動を川島実行委員長の元、事務局より報告を行った。
- (2) ハートフル桶西水族館（桶川西高校、事務局代読）について報告を行った。

●その他の活動報告

- (1) 小松川小学校との取り組みについて堂本委員長より報告を行った。
- (2) アリオ上尾における桶西水族館展示について事務局より報告を行った。
- (3) 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会の活動に資する取り組みについて活動実施コンサルタントより報告を行った。
  - ・ハンノキ生育の場の調査については、土壌窒素分の調査も行ってみると良い。

●協議会の運営事務について

- ・協議会の運営事務をコンサルタントに委託しているという話は聞いていない。委託内容や個人情報の取扱いについて、情報共有がなされていない。その内容や個人情報の取扱いを荒川上流河川事務所が説明すること。

●協議会の諸活動や組織体制の見直し

- ・協議会のあり方、要綱等を集中的に協議できる場が必要である。協議の場は、対面での実施が望ましい。

以上